

令和4年度 学校評価書 (実施段階)

福岡県立玄界高等学校

自己評価			評価 (総合)	評価 (総合)	学校関係者評価
<p>学校運営計画(4月)</p>					
<p>学校運営方針</p>	<p>創学の精神及び校則に則り、日本の歴史と伝統を尊重し、他国を敬愛する国際感覚をもち、地域、国家及び国際社会に貢献するたくましい人間を育成する。</p>				
<p>昨年度の成果と課題</p>	<p>本年度最重点目標</p>	<p>基礎基本の定着を図り、希望進路の実現をめざす</p>			
<p>○令和3年度も、コロナ感染症対策に追われたが、コロナにおいて、学校行事の在り方を模索し行事を検討し文化発表会や体育大会を実施することができた。今後は、保護者や地域の方の参観などさらに知恵と工夫を検討する。 ○総合的な探究の時間の地域やオンラインの実践により、人の役に立つことの大切さを学んだ。引き続き積極的で効果的なキャリア教育を推進する。千鳥駅から学校までの地域を中心とした登下校マナー指導と歩道の拡充に向けた地域の要望等、協力しながら行ってきたい。学校とPTAの連携行事として、学校周辺や公園など自治会と連携した清掃ボランティア等、道徳の実践力をさらに高めるために「十則」の指導を徹底し、その意味を理解させたい。 ○国際文化コースのブランド化を推進し、玄界高校の特色として魅力ある学校づくりを継続したい。そのために基礎学力定着に向けた授業の実践に向けて、「探究型授業」の導入と観点別評価の定着を図り、授業アンケート等から生徒の実態に応じた教育課程・学習指導方法の研究を継続し、生徒の進路希望実現に向けて生徒がより高い目標を定め、最後まで努力を継続できるように、教員の組織化と迅速かつ正確な計画・実行を目指す。 ○本校の強みである、留学籍制度の充実を図るため、多角的な観点から新たな姉妹校の開始を図り、推進する。また、従来の体験入学、オープンキャンパス、中学生進路相談事業に加え、広報の新たなアイデアを研究し積極的な生徒募集を行う。 ○創立40周年に向けて、PTA・同窓会とより密接な連携を推進していく。 ○部活動に於いては感染症拡大防止対策をとりながら、練習を工夫し、フェンシング部、男女ホッケー部、美術部が全国大会出場を果たした。今後とも、部活動を中心に規律ある校風作りに貢献できるスチールリーダーを育成する。</p>	<p>年度重点目標</p>	<p>具体的目標</p>	<p>評価</p>	<p>自己評価は</p>	
	<p>学習指導の充実を図るために、学ぶ意欲を喚起し、基礎学力の定着を図る</p>	<p>○新課程に向けた指導・評価方法の改善に努める ○初期導入教育の工夫による学習習慣の確立に努める</p>			<p>A: 適切である B: 概ね適切である C: やや適切である D: 不適切である</p>
	<p>組織的・協働的な生徒指導、教育相談の充実(自己肯定感を確立する指導)</p>	<p>○規律ある学校生活を確立し、出席率や自己管理能力の向上に向け全職員で情報共有と連携の深化を図る ○OSOやSSW等の専門家と連携しながら、生徒が心身ともに健康な学校生活を送ることができるよう配慮する</p>	A	A	
	<p>進路指導の充実</p>	<p>1学年 進路情報の提供を通して高い志を定着する指導 2学年 具体的な希望進路の取組に向けた取組 3学年 希望進路実現に向けた個別指導の充実</p>			
	<p>道徳教育の充実</p>	<p>○「十則」指導の工夫改善を図っていく中で、公徳心を育成し、人としての在り方・生き方の指導を行う ○学校行事や部活動などをとおして、自分の大切さとともに他人の大切さを認めるという人権感覚を育成する</p>			
	<p>達成感が経験できる楽しい学校の創造</p>	<p>○生徒が個の多様性を相互に認め、自己肯定感を高めあうクラス経営を目指す ○部活動の活性化に努め、部活動をおとした自己実現や部活動生を中心とした活気ある校風の確立に努める</p>			
	<p>本校の魅力発信のための積極的で工夫された広報活動および入学志願者獲得活動の展開</p>	<p>○中学生体験入学において、生徒会・部活動生や主体的な活動を支援する ○ホームページを刷新し、本校の魅力を発信するため、SNS広報を充実させる</p>			
	<p>家庭・地域社会との連携強化と信頼関係の深化</p>	<p>○学校一斉メールにより、生徒用メールと保護者用メールを切り分け、情報を発信する ○PTAや同窓会の活動が活発となり、学校より深い連携を図れるよう支援する</p>			
<p>評価項目</p>	<p>具体的目標</p>	<p>具体的方策</p>	<p>評価(3月)</p>	<p>次年度の主な課題</p>	<p>項目ごとの評価</p>
<p>教務課</p>	<p>学習に取り組むための環境整備</p>	<p>「観察」や挨拶を行い、授業規律確立のための指導を継続して行い、生徒が主体的に学習する環境作りを行う。</p>	A	<p>教育課程・観点別評価・教務規程等を根本から見直し、更なる学習活動の充実を図る。また、成績処理等の諸業務に関する負担を軽減するシステムを構築する。</p>	<p>A</p>
	<p>基礎学力の確実な習得のための授業の工夫・改善</p>	<p>観点別評価を取り入れた学習評価を実施し、生徒の学習意欲の喚起につなげる。</p>	B		
<p>教務部</p>	<p>学校の活性化・特色化の推進</p>	<p>生徒の実態を考慮しながら進路希望に応じた教育課程、類型選択の継続的な検討を行う。</p>	A	<p>学校内外への情報発信において、Instagram等の積極的な活用や仕組みづくり、学習者用端末の利活用を通じた授業改善の支援に取り組む。</p>	<p>A</p>
	<p>各部・各課、部活動と連携を取り、保護者・中学校等への情報発信の充実</p>	<p>学校ホームページや公式YouTubeチャンネル、公式Instagram等を活用し、広報課と連携して学校の魅力を発信する。 一人一台端末の導入に向け、機器の受け入れや運用に関するルール作りを進め、学習者用端末の利活用促進を図る。</p>	B		
<p>図書課</p>	<p>読書の奨励と、図書館利用の促進</p>	<p>新着図書を紹介、図書館だより、掲示物等、図書館からの情報提供を工夫し、図書館利用の促進を図る。</p>	A	<p>図書館オンラインエンジェーション以降の貸し出し数の増加を目指すため、調べ学習やグループワークで図書館を利用してもらおうを推進していく。</p>	<p>B</p>
	<p>図書委員会の育成、活性化</p>	<p>読み聞かせ活動を広げ、訪問朗読会など、本を介しての活動による地域貢献と図書委員の育成を目指す。</p>	A		
<p>生徒課</p>	<p>十則に基づいた道徳の実践力の向上</p>	<p>コロナ禍にあるからこそできることを生徒自身が考え、生徒会執行部や各種委員会を軸とした生徒主体の活動を推進する。</p>	B	<p>現在の状況に応じた生徒指導の在り方を研修するとともに生徒理解に努めていきたい。また、将来社会のリーダー的な存在になり得る人材の育成に努めていきたい。</p>	<p>B</p>
	<p>問題行動やいじめ未然防止、適切かつ迅速な対応</p>	<p>携帯電話・スマートフォン使用に関するマナーと併せて、SNS等におけるモラルの指導に努める。</p>	B		
<p>生徒部</p>	<p>コロナ禍における学校の活性化</p>	<p>十則にもあっても、体育大会や文化発表会などの学校行事の開催実現の方向を模索する。</p>	B	<p>生徒のリーダーシップや主体性を伸ばしていくためには、生徒が中心となって学校行事に積極的に関与する必要がある。 「自分」の学校を自分で清掃すること、毎日の清掃を習慣化する際には、家庭と連携し、協力を得ることが効果的である。 PTA活動や同窓会活動を今後さらに活性化していくためには、それぞれが積極的にコミュニケーションをとり、生徒の力が発揮できるように、図書館で調べ学習やグループワークなどの取組は効果がある。</p>	<p>B</p>
	<p>健康的な学校生活を実現するための指導と保健・整美委員会の自発的活動の促進</p>	<p>保健だよりの作成や清掃の呼びかけ等、役割を意識して自主的に活動できるように的確な指導を行う。</p>	B		
<p>企画課</p>	<p>校内外の環境整備の徹底</p>	<p>各学年や生徒会・部活動と連携し、地域清掃を計画し、奉仕の精神を培う。</p>	B	<p>毎日の清掃を生徒全員で時間一杯まで活動させることができていない。職員の手配等にも問題があると考えられるが、掃除のマニュアルを活用し、徹底した指導をお願いしたい。</p>	<p>B</p>
	<p>感染症対策の充実</p>	<p>全職員の見守り体制の構築と、保健室利用のルールを徹底させる。また、第2保健室を感染症対策に活用する。</p>	B		
<p>進路課</p>	<p>儀式的行事や新年度入学生予定に関する業務の早期の企画、立案と実施方法の工夫・改善</p>	<p>感染症対策を講じて、各行事の目的に応じた望ましい成果を達成することができる実施方法を、各分科・係と十分に調整・連携を行って企画・立案する。</p>	B	<p>分室内で業務内容を明確にし、具体的な作業や手順等を整理して、他分室との連携をしっかりと行い起床を早める。PTAと同窓会の活動が更に活性化するように支援する。</p>	<p>B</p>
	<p>施設要覧や入学の手引、学校新聞などの発行物の内容の充実と、円滑な制作</p>	<p>紙面構成を工夫し、内容を充実させるとともに、原稿集約と編集作業を計画的かつ円滑に進める。</p>	B		
<p>進路部</p>	<p>PTA、同窓会活動の積極的な支援と、互助会・共済組合の校内事業の推進</p>	<p>役員と連絡を密に行い会議や事業の円滑な実施を支援する。また各委員会の活動が盛んとなるよう担当者と情報交換を行い連携を深める。</p>	A	<p>体験入学やSNSを通して、玄界高校の魅力や手紙を発信し、生徒募集に繋げた。校内の広報活動を活発化させることで、本校生徒自身にも玄界高校の魅力を再発見させていく。</p>	<p>A</p>
	<p>進路目標の早期確立と進路意識の向上(進路学習)</p>	<p>大学訪問や進路フェスタなど、外部との連携ある学習を実施し、生徒の主体的な進路選択を促す。</p>	A		
<p>広報課</p>	<p>進路情報の提供(情報提供)</p>	<p>「進路の手引」等を活用し、生徒と保護者の進路選択を支援するとともに最新情報を提供する。</p>	B	<p>インターネット等を通じて、進路に関する情報が処理できないくらいにふれている。進路選択や進路実現に向けた活動を学校で計画的に始めてもらいたい。進路情報に対して進路情報を知らせることが出来る機会を提供し、学校と家庭が協力して生徒の進路実現を目指す体制を作ることで大切である。</p>	<p>B</p>
	<p>学校広報活動の充実</p>	<p>情報課と連携し、学校ホームページや公式SNS等を活用した広報活動に取り組む。部活動の様子や学校での様子を広く知らせる。</p>	A		
<p>研修課</p>	<p>学校広報委員会の活用</p>	<p>手に取りたいような表紙を企画し、より見やすい学校案内を4月中に作成する。</p>	A	<p>一人一台端末の導入に向けた研修を積極的に実施したい。特に、ICT支援員を活用した研修を展開していきたい。</p>	<p>A</p>
	<p>生徒会広報委員会活動の充実</p>	<p>学校新聞「玄旬」の掲載記事の積極的な工夫を生徒会広報委員会主体で行い、年2回以上の発行を目指す。</p>	B		
<p>研修部</p>	<p>教科や教職の専門性の向上、校内研修の充実、積極的な校外研修の働きかけ</p>	<p>1学期にICT活用を中心とした公開授業期間を設定し、相互授業参観を行う。また、ICT支援員と協力し、年間3回以上のICT活用指導力向上校内研修を実施する。</p>	B	<p>国際文化コースは玄界高校の大きな特徴の一つなので、広報活動を通じて、もっとアピールする方が良い。</p>	<p>A</p>
	<p>教員としての自覚を高め、自立した教育活動を展開する基地を作る初任者研修、教育実習生を積極的受け入れ研修や研究成果の収集、編集、研修紀要(創造)の発行</p>	<p>教員の基礎的素養や教科指導、生徒指導、特別活動、人権教育の研修を通して、本校における教育の理解を深める。</p>	A		
<p>国際教育課</p>	<p>国際文化コースの特色化・その充実・発展を目指すための行事の活性化</p>	<p>1年間の校内研修の成果を記録し、職員全体に還元する。</p>	B	<p>国際文化コースの行事、活動を普通科一般クラスに広げ、玄界の国際理解教育に貢献していきたい。</p>	<p>A</p>
	<p>国際教育プログラムの円滑な運営</p>	<p>オンラインによるネイティブとの英語レッスンの導入や、学年交流の英語デバト大会などの特色のある行事の充実を図る。</p>	B		
<p>1学年</p>	<p>基本的な生活習慣の確立</p>	<p>韓国生徒との交流を年2回開催し、意識高揚、学校生活の不安解消、進路への参考として活用させ、日常生活にも積極的に関与するきっかけを作る。</p>	A	<p>基礎学力をつけるために、体育大会や修学旅行等の学校行事を通じて、責任感やコミュニケーション能力を高める進路実現へ繋げていきたい。</p>	<p>B</p>
	<p>学習習慣の確立</p>	<p>十則にある「大きな声で挨拶」、「時間を厳守」、「掃除は進んで行う」の3点を重点を置き、授業やHR、集会等で意識させ、実践させる。</p>	B		
<p>2学年</p>	<p>学習習慣の確立</p>	<p>中学校の学習内容の理解度を認識しながら授業を行い、不足している場合は復習を行う基礎学力の充実を図る。</p>	B	<p>十則を前面に押し出した指導を行うことで、より健康的な生活習慣を確立させる。また、勉強に十分時間を充てさせ、学年全員の進路実現を達成する。</p>	<p>B</p>
	<p>進路目標の決定</p>	<p>特に、「時間を厳守」「はじめのある生活を心掛ける」の2つに重点を置き、授業やHR、集会等で丁寧に意識させ実践させる。</p>	B		
<p>3学年</p>	<p>「いける」でなく「いけべき」進路の実現</p>	<p>卒業生や外部講師による進路講演会を企画し、進路決定に取り組む前向きな意欲を育む。</p>	B	<p>総合的な探究の時間を充実させることで、進路実現に繋がってほしい。生活習慣の確立を始め、自己分析・自己表現する機会を設ける必要がある。</p>	<p>A</p>
	<p>授業やSHR等を活用して小テストや小論文等を実施し、学習習慣の確立を図る。</p>	<p>面談やノルティへの記入を通して、日々の生活を振り返り、時間の使い方をコントロールする。</p>	B		
<p>事務部</p>	<p>学校の特色化・活性化の取り組みへの効果的な支援</p>	<p>教育庁の実施する様々な事業の予算組みへの最大限に活用する。</p>	A	<p>効率的な予算執行やコロナ感染症対策を引き続き進めていきたい。授業料納入促進委員会は年数回実施し、校納金の長期滞納を解消していきたい。</p>	<p>A</p>
	<p>保健課と連携し、令和3年度に引き続き感染症防止対策を行う。</p>	<p>授業料納入促進委員会を年1回行い、学年と情報共有することで長期の未納状況を解消する。</p>	A		

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善案

評価項目以外に関する意見

- ・生徒指導面：学校行事(体育大会や文化祭、修学旅行等)を通じて、生徒の意見を積極的に活用し、生徒が主体となって活動に参加する場面づくりを支援することによって、生徒の自己肯定感や愛校心を育成する。
- ・進路指導面：総合的な探究の時間を活用し、生徒が自ら選んだテーマについての探究する力を身に付けさせる場面を設定することによって、生徒が自分自身の特性や能力を自覚し、進路実現に結び付ける。
- ・学習指導面：一人一台端末(ICT)を最大限に活用した授業への改善をさらに加速させるために、年間3回の校内ICT研修及び校外(中学校や他校のICT授業見学、県主催研修会等)に積極的に参加し、学習指導における実践力を身に付ける。
- ・SDGsに取り組むも教育活動の評価項目を取り入れたい。